

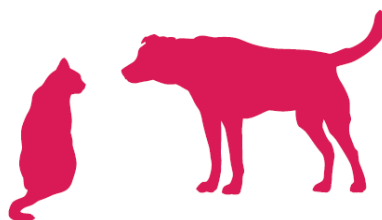
神奈川県動物愛護センター いのちの授業

神奈川県動物愛護センターでは、動物を通じて、動物の気持ちになって考える、自分の心音を聞いていのちを感じる等、「いのちの大切さを伝える」ことに重点を置いた「いのちの授業」を実施しています。

教室では、神奈川県動物愛護センターで日々動物と接している獣医師が、お話しをします。

**We Live
They Live
Our Kanagawa**

きみのハッピーは、ぼくのハッピー。
Your happiness is my happiness



目次

1 沿革.....	2
2 プログラムの種類.....	2
3 各プログラムの内容.....	3
(1) 出張型	
ア どうぶつのお話し.....	3
イ 動物の気持ちを考えてみよう.....	3
ウ 動物のいのちを考えてみよう.....	4
エ 動物のためにできることを考えてみよう.....	5
オ 動物の殺処分について考えてみよう.....	5
カ 職業講話.....	5
(2) 来所型～長期間の休み（夏休み、冬休み等）限定～	
神奈川県動物愛護センターについて学ぼう～バックヤードツアー付～.....	5
4 申込方法と教室実施の流れ.....	6

1 沿革

神奈川県動物愛護センターでは、昭和 59 年より小学校低学年児童などを対象に「小動物とのふれあい教室」を開始し、平成 2 年には当所敷地内に「ふれあい動物ひろば」を設置するなどして、動物とのふれあいを通じて動物の愛護意識の普及啓発を実施してきました。

現在の神奈川県動物愛護センターは、令和元年 6 月に「動物を処分するための施設」から「生かすための施設」へと機能を転換し、名称も新たに開所したセンターとなります。

新センターには見学バルコニーを設けており、開所時間はどなたでも自由に保護動物をご覧いただくことができます。また、人と犬や猫と一緒に快適に暮らすための室内飼いのモデルルームがあり、職員対応が可能な時間帯はふれあいを行うことも出来ます。

そのため、これからの神奈川県動物愛護センターでは、動物とのふれあいを通じてのみではなく、動物の気持ちになって考える、自分の心音を聞いていのちを感じる、動物愛護センターの業務を知り自らが何を行えばよいのか考える等、「いのちの大切さを伝える」ことに重点を置いた「いのちの授業」を実施していくこととしました。

2 プログラムの種類

神奈川県動物愛護センターの獣医師が学校に伺う出張型と、学校の長期休み等に神奈川県動物愛護センターに来所して施設見学等を行う来所型の 2 種類があります。

出張型の場合は、年代別に最も効果的と思われるプログラムを策定し、これらの教室を通じていのちの大切さを伝えていきます。

(1) 出張型

プログラム名	主な対象	内容・ねらい
どうぶつのお話し	幼稚園児 保育園児	動物について考える時間を設け、「いのち」という言葉があることを知ってもらう。
動物の気持ちを考えてみよう	小学 1・2 年生	犬や猫などの表情を見て気持ちを考えることで、動物についての興味を持ってもらう。
動物のいのちを考えてみよう	小学 3・4 年生	動物の飼育に必要なことを想像して考えることで、お世話の大切さやいのちの大切さを感じてもらう。
動物のためにできることを考えてみよう	小学 5・6 年生 中学生	当所の業務を紹介し、動物たちのために自らができることについて考えてもらう。
動物の殺処分について考えてみよう	高校生	当所の業務を紹介し、殺処分を減らすために自らができることについて考えてもらう。
職業講話	中学生、高校生	県の獣医師の仕事や、当所の業務紹介を通じて、仕事のやりがいや愛護動物のために自らができることについて考えてもらう。

(2) 来所型～長期間の休み（夏休み、冬休み等）限定～

プログラム名	主な対象	内容・ねらい
神奈川県動物愛護センターについて学ぼう～バックヤードツアー付～	小学5年生～中学生	当所の業務を紹介し、動物のいのちについて考える。 その後、実際に収容通路から動物の収容状況を見学し、保護犬猫の収容実態を実感してもらう。

*高校生からのお問合せは、職員への取材を希望する声が多いことから、現時点ではバックヤードツアーを主とした教室は開催しておりません。希望される場合はご相談ください。

3 各プログラムの内容

各プログラム例はあくまで当所からの提案とさせていただきます、ご希望の内容があれば都度調整をさせていただきますので、お気軽にお問合せください。

(1) 出張型

ア どうぶつのお話し（主に幼稚園、保育園児向け）

プログラム例（30分の場合）

5分	挨拶、神奈川県動物愛護センターの紹介（紙芝居など）
10分	①どんな動物を知っていますか。 好きな動物をかいてみよう。（各自動物の絵をかいてもらう）
5分	①のまとめ、回答 色々な動物の紹介 愛玩動物、畜産動物、野生動物、昆虫等（紙芝居などで振り返り）
5分	② 生きている動物と死んでいる動物について身近な例をあげて紹介し、「いのち」という言葉を知る。 生きている＝「いのち」がある：動ける⇔死んでいる：動けない
5分	②のまとめ（人も動物も一緒）

イ 動物の気持ちを考えてみよう（主に小学1、2年生向け）

プログラム例（45分授業の場合）

10分	挨拶、神奈川県動物愛護センターの紹介（スライドにて）
5分	メモ用紙を配布、作業の説明
10分	1枚目の写真（収容したばかりの犬猫の写真：警戒している顔、トリミングされていない様子等）を見て動物の気持ちを考える。（メモ用紙に各自記載） メモ用紙に書いたものを発表
10分	2枚目の写真（収容してしばらくした犬猫の写真：穏やかな顔、トリミングされたキレイな状態等）を見て動物の気持ちを考える。（メモ用紙に各自記載） メモ用紙に書いたものを発表
10分	2枚の写真について説明、まとめ（スライドにて）



おびえている猫



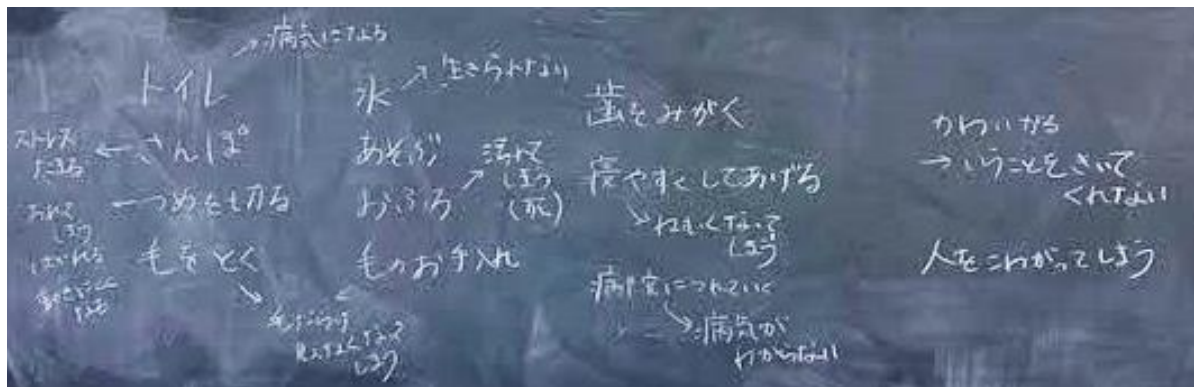
リラックスしている猫

ウ 動物のいのちを考えてみよう（主に小学3、4年生向け）

プログラム例（45分授業の場合）

10分	挨拶、神奈川県動物愛護センターの紹介（スライドにて）
5分	メモ用紙を配布、作業の説明
10分	動物のお世話について何が必要か考える。（メモ用紙に各自記載） ごはんをあげる、トイレの掃除をする、散歩に行く、シャンプーする、ブラッシングする、健康診断につれていく、かわいがる等 メモ用紙に書いたものを発表
10分	お世話をしないとどうなるか、想像してみる。（メモ用紙に各自記載） ごはんをあげないと→お腹をすかせてしまう トイレの掃除をしないと→トイレが汚いので気持ちがわるい 健康診断につれていかないと→病気になってしまうかも
5分	究極的にお世話をしないと、「死」に至る可能性があることを説明 （希望により）聴診器を用いて自分の心臓の音を聞き「いのち」を感じてもらう
5分	まとめ（スライドにて）

（実施例）



エ 動物のためにできることを考えてみよう（主に小学5、6年生、中学生向け）

プログラム例（45分授業の場合）

15分	挨拶、メモ用紙配布、神奈川県動物愛護センターの紹介（収容・譲渡・返還・殺処分等について）（スライドにて）
10分	テーマ「愛護センターの動物をゼロにするためには」を考える上でサブテーマを考える。（ブレインストーミング） 例「飼い主が最後まで面倒をみる」 「迷子にさせない」 「愛護センターやボランティアから動物をゆずりうける」等
10分	サブテーマについて考える。（ブレインストーミング）
10分	発表とまとめ

オ 動物の殺処分について考えてみよう（主に高校生向け）

プログラム例（45分授業の場合）

グループディスカッションを主とした授業を考えております。

20分	挨拶、メモ用紙配布、神奈川県動物愛護センターの紹介（収容・譲渡・返還・殺処分等について）
15分	テーマ「殺処分を減らすためには」を考え、発表（グループディスカッション）
10分	まとめ

カ 職業講話（主に中学生、高校生向け）

プログラム例（45分授業の場合）

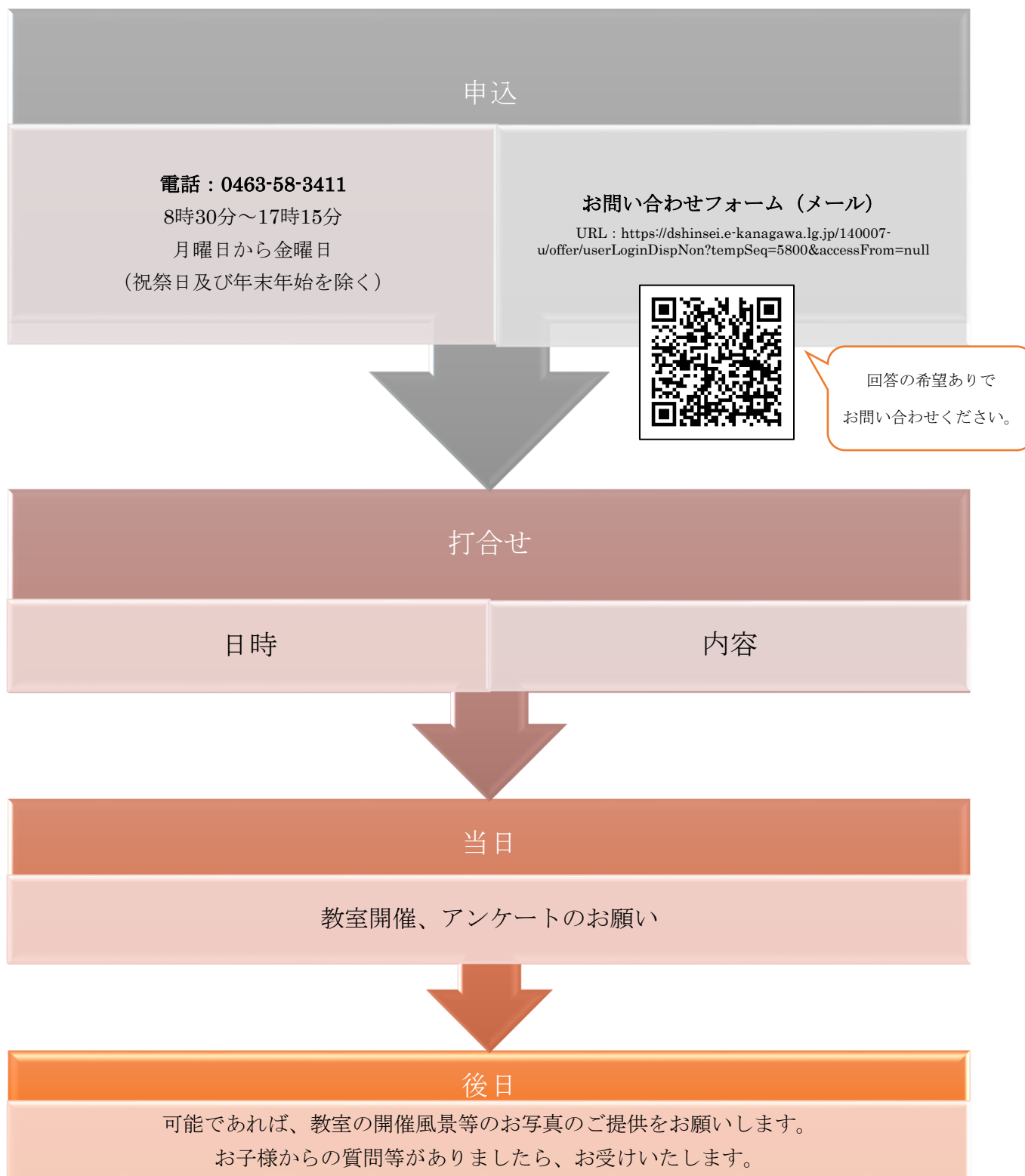
25分	自己紹介、県職獣医師の仕事について、神奈川県動物愛護センターの紹介
10分	（希望者のみ）獣医師の仕事の体験：マイクロチップ読み取り体験、聴診器体験
10分	まとめ、質疑応答

(2) 来所型～長期間の休み（夏休み、冬休み等）限定～

プログラム例（1時間の場合）

25分	いのちの授業（神奈川県動物愛護センターの業務紹介、殺処分の実態、みなさん にお願いしたいことの提案等）
30分	バックヤードツアー（検疫室前、動物の収容通路等を案内）
5分	まとめ、質疑応答

4 申込方法と教室実施の流れ



神奈川県動物愛護センター
愛護・指導課企画班
電話 0463-58-3411